

東屯田川遊水地に生息する生物

豊富な種類の魚貝類



ギンブナ

東屯田川遊水地はたくさんの魚を初めとして魚貝類が生息しています。モツゴ、ライギョ、キンブナ、コイ、フナ、ワカサギ、ドジョウ、ナマズ、スジエビ、マルタニシ、モノアライガイなど。

なじみ深い昆虫たち



モンシロチョウ

東屯田川遊水地はトンボ類、蝶類がよく見られます。セスジイトトンボ、ギンヤンマ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キアゲハ、カラスアゲハ、クジャクチョウ、オオコイムシ、ミソハビハムシなど。

水辺に沿って咲く草花



ノハナショウブ

東屯田川遊水地は水辺に生える水生植物が多く見られます。マツモ、イモト、ミクリなど。水辺に沿って咲くミズバショウは訪れる人たちの目を楽しませてくれます。

近隣史跡案内

屯田地区は明治22年に入植した屯田兵が中心となって開拓した土地です。そのため、史跡にも屯田兵や農耕馬をたたえる碑が多いのが特徴です。

① 屯田郷土資料館



開拓時の屯田兵屋が復元されているほか、屯田兵に関する資料が展示されています。

- 入館料 無料
- 開館時間 午後1時～午後4時
- 休館日 毎週月曜日及び年末年始
- 交通 地下鉄麻生駅から中央バス 屯田行き乗車屯田5-7下車
- 駐車場 あり
- 住所 札幌市北区屯田5条6丁目3-21 (屯田地区センター併設)
- 電話 (011)772-1811

② 屯田兵顕彰之像



屯田は、むかしは「篠路兵村」と呼ばれました。はじめて篠路兵村の土地を踏んだのは、明治22年(1889)7月15日、琴似、山鼻、新琴似につぐ、札幌で4番目の屯田兵で、札幌最後の屯田兵となりました。この地を開拓した屯田兵の功績をたたえ、屯田開基100年記念の際に建立されました。

生態系を支える木々



ドロノキ

ドロノキ、オニグルミ、シラカバ、カエデを初めとする木々は、東屯田川遊水地の生態系を支える重要な役割を担っています。

野鳥たちの楽園



キンクロハジロ

東屯田川遊水地は野鳥の楽園と呼ばれるくらい、たくさんの鳥が住み着いています。水辺には、マガモ、ハシビロガモ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、カワアイサ、ミコアイサ、コガモ、カルガモ、バン、オオバン、ヨシガモ、アオサギ、カワセミ。草原には、イソシギ、ハクセキレイ、トビ、オオルリ、エゾセンニュウ、オオジュリン、ヒバリ、ノビタキ、ヒヨドリなどが生息しています。



東屯田川遊水地

- 第一遊水地
 - ・面積:2.5ha・水深:90cm・施設:野鳥観察デッキ
- 第二遊水地
 - ・面積:3.5ha・水深:90cm・施設:多目的広場、駐車場、パークゴルフ場、散策路、ボードウォーク



さっぽろ市
02-005-10-845
22-2-127

東屯田川遊水地

東屯田川遊水地は、人々に親しまれる水と緑豊かな水辺空間としてパークゴルフ場、野鳥や水生・湿生植物など豊かな自然を観察できる観察デッキや遊歩道が設備されています。皆様の健康促進、憩いの場としてご活用ください。



お問い合わせ先 札幌市北区土木センター TEL:011-771-4211